

# 役場新庁舎が高台で開庁



新庁舎全景

室内には、多目的スペースの「くろしおホール」や、町の物産品を展示するコーナー、相談コーナーなどを設け、館内の案内板や議場、

1月9日(火)、黒潮町役場新庁舎の供用が開始されました。

新庁舎は海拔26mに立地し、鉄筋コンクリートと鉄骨、木材による3F建て、建築面積1376㎡・延べ床面積3716㎡です。

同ホールには町内産のヒノキが使用されています。

新庁舎の移転計画は、「国道56号大方改良事業」にともない平成20年度から移転候補地の検討を重ね、当初は、「旧庁舎東側駐車場前」が建築予定地として決定していました。

その後、東日本大震災の際に、津波浸水想定より低い位置にあった被災地の庁舎が甚大な被害を受け、災害対応や復旧・復興が遅れる事例が多く報告されたことで、計画の見直しを行い、津波浸水想定より高い海拔26mの現在の場所(入野ステン谷)に移転が決定されました。

これにより、災害時には一時避難施設としての活用や、災害対策拠点として行政機能の維持が可能となり、防災に強いまちづくりへ一歩前進しました。

今後はさらに、庁舎が地域の皆



広い駐車場も完備

さんに親しまれ、町の防災や発展のシンボルとなるよう目指していきます。



- 1 1F エントランスホール
- 2 1F 物産品コーナー
- 3 1F くろしおホール
- 4 2F フロア

## 保育園児ら新庁舎を特別見学・植栽

町内保育所に通う園児が1月5日(金)、役場新庁舎の供用開始を前に、特別公開として庁舎内を見学しました。また9日(火)の開庁日には、中央保育所の園児らが庁舎前のプランターに植栽しました。

5日(金)

の見学会に参加したのは町内4カ所の保育所に通う年長の園児らで、大西町長から歓迎のあいさつがあった後、担当者による施設内の案内がありました。園児たちは町長室や副町長室にも入室し、椅子に座ったり、踊り場から黒潮町の海を眺めたりと、初めての景色に興味津々の様子でした。



順番に椅子に座る園児ら

最後には、園児たちから関係者に向けて「僕たち、私たちは黒潮町が大好きです」とメッセージが送られました。

9日(火)に行われた植栽では、パンジーやビオラ計66株の苗が園児たちの手で植えられました。



花を植える園児ら